

ごあいさつ

ステークホルダーの皆様からの 期待と信頼に応える 企業グループを目指します

東武鉄道株式会社
取締役社長

根津 嘉澄



● はじめに

東武グループでは、これまで鉄道事業や各事業を通じ、街と街、人と街、鉄道ネットワークを活用した相互直通運転等、たくさんの「つなぐ」で沿線発展の一端を担ってまいりました。これからも「つなぐ」を「惹きつける力」へと進化させ、定住人口の増加と交流人口の拡大による地域の活性化と沿線のさらなる発展を目指しております。

今日、企業が持続的に発展・成長するためには「企業の社会的責任(CSR)」という視点が欠かせなくなり、社会との共生が求められております。また、地球温暖化防止や持続可能な循環型社会の構築など、環境保全是国境を超えた人類共通の課題となっており、当社におきましても、持続可能な開発目標(SDGs)や環境・社会・ガバナンス(ESG)に対する取り組みを進めております。

本報告書では、こうした課題を踏まえながら、当社における社会とのかかわりと環境配慮の取り組みについて紹介いたします。

東武鉄道を含む東武グループは、鉄道事業を中心に、「運輸」「レジャー」「不動産」「流通」などの各部門において、沿線地域等の皆様と長年にわたる信頼関係を構築し、各種事業のサービスを展開していくことで社会に貢献するという理念・方針のもとに、企業の社会的責任を果たしてまいりました。

● 社会とのかかわり

社会とのかかわりにつきましては、鉄道事業においては「安全」を基軸に、安心・便利で快適なサービスを提供することを社会的使命と考え、バリアフリー及びユニバーサルデザイン化の推進、並びに事故防止のための設備の充実などに努めるとともに、お客様や沿線にお住まいの皆様は鉄道を安全にご利用いただくための啓発活動を広く行っております。また、訪日外国人旅行者に向けた取り組みの実施や、地域活性化を目指した各種施策を通じ、沿線地域にお住まいの皆様や自治体その他協力会社のご支援をいただきながら、沿線の魅力の発信に注力しております。

開発事業及び東武グループ各社の事業におきましては、沿線地域の皆様の日常生活をサポートすることを目的としており、事業の着実な遂行を通じて東武グループとして企業の社会的責任(CSR)を全うできるものと考えております。

● 環境配慮への取り組み

環境配慮への取り組みにつきましては、鉄道事業においては、自動車・航空機等と比較するとエネルギー効率が低いという環境優位性を活かすべく、身近な環境対策として鉄道利用を促すことにより、社会全体の環境負荷低減への寄与を目指しております。

一方で、鉄道は環境にやさしい輸送手段である反面、多くの電力を消費することも事実であり、さらに安全対策やバリアフリー化での機器増設などエネルギー消費量の増加する側面もあるため、環境負荷低減策として省エネルギー性能に優れた車両の導入などの施策に取り組むなど、CO₂排出量の削減等の対策に努めております。

開発事業においては、戸建分譲やマンション分譲などにおいて、積極的に省エネルギー設備を取り入れるなど環境に配慮した取り組みを進めております。

また、本年5月に7周年を迎えた「東京スカイツリータウン®」における地域冷暖房施設の高いエネルギー効率性が評価され、省エネルギー大賞、資源エネルギー庁長官賞を受賞しました。

● 長期経営構想・中期経営計画

東武グループでは、現在の位置付けを新たな成長に向けて舵を切る転換期ととらえ、長期的な視点における経営の基本的な方向性と将来のあるべき姿を示した「長期経営構想」と、これに基づく4か年の具体的な取り組みを示した「中期経営計画」を策定しました。

引き続き、東武グループに関わる皆様からの期待と信頼に応えるべく、中期経営計画とともに、社会や環境への取り組みを進めながら、沿線価値と企業価値のさらなる向上を図ってまいります。

本報告書の発行を通じ、情報を積極的に開示することでステークホルダーの皆様とのコミュニケーションに努めたく、忌憚のないご意見・ご感想をいただければ幸いです。